

「日医標準レセプトソフト」

ORCA Project

医療情報連携基盤実装ガイド レセコン編対応

2015 年 2 月 24 日

公益社団法人日本医師会

1	初期設定	1
1. 1	ファイル出力ディレクトリの作成	1
1. 2	システム管理の設定	1
1. 3	全件出力する場合の設定	3
2	患者設定	4
3	連携データファイル作成	4
3. 1	レセプト作成処理	5
3. 2	連携基盤用データファイルの作成処理	6
3. 3	入退院データファイルの作成処理	9
3. 4	外来情報連携用データファイル作成処理の自動実行	9
4	各レコードの説明	10
4. 1	医療機関情報レコード	10
4. 2	レセプト共通レコード	10
4. 3	連携用レセプト共通レコード1	10
4. 4	連携用レセプト共通レコード2	11
4. 5	連携用レセプト共通レコード3	11
4. 6	保険者レコード	11
4. 7	公費レコード	12
4. 8	傷病名レコード	12
4. 9	診療行為レコード	12
4. 10	医薬品レコード	12
4. 11	コメントレコード	12
4. 12	連携用コメントレコード	13
5	連携用コメントマスタの作成と入力方法	13
5. 1	コメントマスタの作成	13
5. 2	連携用コメントの入力方法	14
6	留意事項	15
6. 1	連携基盤用データファイルの削除	15
6. 2	制限事項	16

1 初期設定

1. 1 ファイル出力ディレクトリの作成

医療情報連携基盤用のデータファイルを出力するディレクトリを作成します。

ディレクトリは英数字のみとし、orca ユーザーにより書き込み可能の状態にします。

説明のため /var/tmp/renkei というディレクトリ名とします。

```
$ sudo -u orca mkdir /var/tmp/renkei
```

1. 2 システム管理の設定

医療情報連携基盤用のデータファイルを作成するため、システム管理の設定を行います。

The screenshot shows a window titled '(W01)システム管理情報設定 - 医療法人 オルカ医院 [ormaster]'. The window contains several input fields and a table. The 'Management Code' field is set to '9101 医療情報連携基盤情報'. The 'Selection Number' field is empty. The 'Valid Period' field is set to '00000000' ~ '99999999'. The table on the right has columns for 'Number', 'Valid Start Date', and 'Valid End Date'. The table is currently empty. At the bottom, there are buttons for '戻る' (Back), 'クリア' (Clear), '前回CD' (Previous CD), and '確定' (Confirm).

番号	有効開始年月日	有効終了年月日
----	---------	---------

管理コードで「9101 医療情報連携基盤情報」を選択します。

有効年月日は“00000000”～”99999999”を指定します。

[確定] ボタンをクリックします。

連携基盤用データ作成で「1 作成する」を選択します。

連携基盤用ディレクトリには1. 1 ファイル出力ディレクトリの作成で作成したディレクトリを指定します。

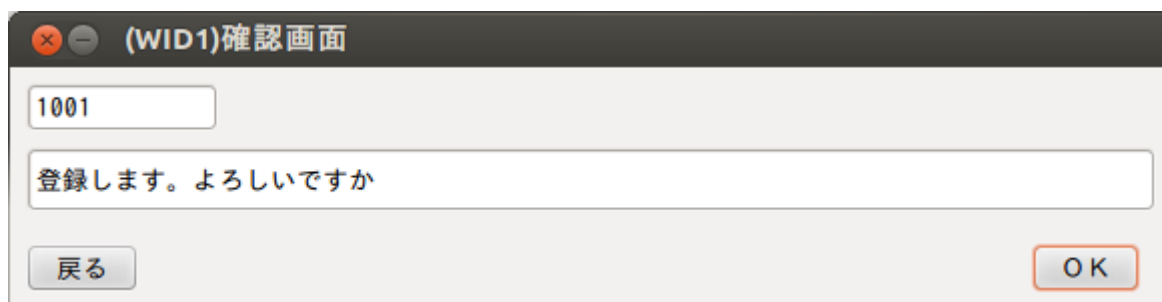
指定したディレクトリが存在しない場合、または orca ユーザーにより書き込みができないディレクトリの場合はメッセージを表示します。

正しくディレクトリを指定できないと登録はできません。

傷病名レコード記録は、レセプト電算処理システムの傷病名レコードを連携基盤用データに記録する場合にチェックします。

自費保険分作成は、患者登録で 980 自費として作成した保険により算定された診療データについても連携基盤用データに記録する場合にチェックします。

地域連携 ID が空白の場合に患者番号を記録は、連携基盤用データ作成が「2 作成する（全件）」の場合に機能します。



(WID1)確認画面

1001

登録します。よろしいですか

戻る OK

「登録」ボタンをクリックして設定内容を登録します。

1. 3 全件出力する場合の設定

地域連携 ID がない、患者の同意がない患者については、通常はデータ作成を行わないが、すべての患者を対象として処理することが可能です。

「1. 2 システム管理の設定」で説明したとおりにシステム管理の設定を行います。

連携基盤用データ作成で「2 作成する（全件）」を選択し登録します。



(W91)システム管理情報-医療情報連携基盤情報-医療法人 オルカ医院 [ormaster]

連携基盤用データ作成 2 作成する（全件）

連携基盤用ディレクトリ /var/tmp/renkei

☐ 傷病名レコード記録

☐ 自費保険分作成

☐ 地域連携IDが空白の場合に患者番号を記録

戻る クリア 削除 登録

地域連携 ID が空白の場合に患者番号を記録は、地域連携 ID が未設定の場合に連携用レセプト共通レコード 1 (R1 レコード) の連携用患者 ID に患者番号を記録させる場合にチェックします。なお、チェックがあっても地域連携 ID が設定されている場合は、これを記録します。

2 患者設定

患者から医療情報連携基盤へデータを提供することについて意思を確認します。
同意を得られた場合は、患者登録画面の「その他」タブ画面より設定を行います。

地域連携 ID には、医療情報連携基盤システムから患者個人を特定するために付与された ID を入力します。

情報提供には、「1 同意する」を選択します。

[登録] ボタンをクリックして設定を登録します。

3 連携データファイル作成

3. 1 レセプト作成処理

医療情報連携基盤用データファイルを作成する手順は、通常のレセプト電算データファイルを作成する流れと同様です。

レセプト作成指示画面を表示します。

- ・ 入外区分を指定します。
- ・ 処理区分に「6 連携基盤用」を選択します。
- ・ “一括作成” を選択します。(個別作成も可能です。)
- ・ 診療年月を指定します。

[確定] ボタンをクリックします。

(RID1)確認画面

1001 【連携基盤用レセプト】

平成26年 6月 入院外分新規作成処理を行います

戻る OK

メッセージを確認して、[OK] ボタンをクリックし処理を開始します。

(R99)処理結果

番号	処理名	開始時間	終了時間	エラーメッセージ
0000001	レセ電データ作成	19.35.50	19.35.54	

Shift+F9: 中止

F1: 戻る F11: 状態 処理は正常に終了しました

処理結果を確認し、[F1: 戻る] ボタンをクリックして元の画面へ戻ります。

※全件出力する場合

全件出力する設定の場合は、確認画面で“【連携基盤用レセプト（全件：未同意分含）】”を表示します。

(RID1)確認画面

1001 【連携基盤用レセプト（全件：未同意分含）】

平成26年 6月 入院外分新規作成処理を行います

戻る OK

3. 2 連携基盤用データファイルの作成処理

医療情報連携基盤用データファイルを作成する手順は、通常のレセプト電算データファイルを作成する流れと同様です。

(T01)総括表・公費請求書作成 - 医療法人 オルカ医院 [ormaster]

診療年月 (出力対象の診療年月を入力)

請求年月日 (請求書に印字する年月日を入力)

対象帳票 ☒ 医保 ☐ 労災

☒ 総括表・社保
☒ 当月分・月遅れ分 ☒ 返戻分

☒ 総括表・国保
☒ 当月分・月遅れ分 ☒ 返戻分 個別指定の保険者番号

☒ 総括表・広域
☒ 当月分・月遅れ分 ☒ 返戻分 個別指定の保険者番号

☐ 総括表・公害
☐ レセ電総括表・国保
☐ レセ電総括表・広域
☒ 公費請求書
☐ 総括表・労災

レセプト電算システム提供データ・公費CSV提供データ
 レセ電チェック
 ファイル出力先 入外区分

標準総括表印刷指示
 社 保 有
 国 保 有
 広 域 有
 レセ電国保 無
 レセ電広域 無

戻る データ取込 個別指示 労災レセ電 公費CSV 主科未設定 公費個別 チェック プリント 処理結果
 再印刷 社保レセ電 国保レセ電 広域レセ電 社保集計表 国保集計表 情報削除 印刷開始

総括表・公費請求書作成画面を表示します。

- ・診療年月を指定します。
- ・レセプト電算システム提供データ・公費CSV提供データの処理区分に「6 連携基盤用」を選択します。
- ・入外区分を指定します。

[社保レセ電] または [国保レセ電] ボタンをクリックします。

(TID2)確認画面

【連携用】

社保分 (入院外) のレセプト電算データを作成します

メッセージを確認して、[F12:作成する] ボタンをクリックし処理を開始します。

(T99)処理結果					
番号	処理名	開始時間	終了時間	頁数	エラーメッセージ
0000001	連携ファイル作成 (社	19.41.53	19.41.53	0	
0000002	帳票印刷処理	19.41.58	19.41.58	0	

処理は正常に終了しました レセプト 1件

処理結果を確認し、[F1:戻る] ボタンをクリックして元の画面へ戻ります。

処理が正常に終了しましたら指定した連携基盤用ディレクトリに連携データファイルが作成されています。

```

orcauser@orcazero: ~
orcauser@orcazero:~$ ls -l /var/tmp/renkei
合計 4
-rw-r----- 1 orca orca 781 6月 17 13:48 RECEIPTCS120140617134829.UKE
orcauser@orcazero:~$
    
```

```

orcauser@orcazero: ~
IR,1,13,1,1311111,,医療法人 オルカ医院,42606,00,03-3946-6933
RE,1,1112,42606,日医 太郎,1,3360401,,,,,00005,,,,,,,,,,,,,
R1,123456789ABCD,,
R2,ニチイ タロウ,1130021,東京都文京区本駒込6-1 6-3 ,03-3942-6933,,,
HO,01130012,1 2 3 4 ,1 2 ,1,466,,,,,,,,,
IY,21,1,620452801,3.00000,5,1,,,,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
SI,60,1,160000310,,26,1,,,,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
SI,60,1,160000410,,7,1,,,,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
SI,60,1,160008010,,21,1,,,,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
SI,60,1,160010010,,49,1,,,,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
SI,60,1,160095710,,20,1,,,,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
SI,60,1,160061710,,34,1,,,,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
SI,60,1,160061810,,125,1,,,,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
~
~
/var/tmp/renkei/RECEIPTCS120140617134829.UKE:
    
```

※全件出力する場合

全件出力する設定の場合は、確認画面で“【連携用（全件：未同意分含）】”を表示します。

(T1D2)確認画面	
1016	【連携用（全件：未同意分含）】
社保分（入院外）のレセプト電算データを作成します	
F1:戻る	F12:作成する

3. 3 入退院データファイルの作成処理

入退院データの作成は、3. 1 レセプト作成処理で説明した内容で入院を指定してレセプト処理を実施しておきます。

(T01)総括表・公費請求書作成 - 医療法人 オルカ医院 [ormaster]

診療年月: H26. 6 (出力対象の診療年月を入力)

請求年月日: H26. 6. 17 (請求書に印字する年月日を入力)

対象帳票: ☒ 医療 ☐ 労災

☒ 総括表・社保
☒ 当月分・月遅れ分 ☒ 返戻分

☒ 総括表・国保
☒ 当月分・月遅れ分 ☒ 返戻分 個別指定の保険者番号:

☒ 総括表・広域
☒ 当月分・月遅れ分 ☒ 返戻分 個別指定の保険者番号:

☐ 総括表・公害
☐ レセ電総括表・国保
☐ レセ電総括表・広域
☒ 公費請求書
☐ 総括表・労災

レセプト電算システム提供データ・公費CSV提供データ

7 連携基盤用(当日分まで) レセ電チェック 0 チェックしない

ファイル出力先 4 システム管理設定場所(MO用) 入外区分 1 入院

戻る データ取込 個別指示 労災レセ電 公費CSV 主科未設定 公費個別 チェック プリント 処理結果
 再印刷 社保レセ電 国保レセ電 広域レセ電 社保集計表 国保集計表 情報削除 印刷開始

総括表・公費請求書作成画面を表示します。

- ・診療年月を指定します。
- ・請求年月日に診療年月で指定した年月内の何日までの退院分とするかを指定します。
- ・レセプト電算システム提供データ・公費CSV提供データの処理区分に「7 連携基盤用(当日分まで)」を選択します。
- ・入外区分に「1 入院」を指定します。

[社保レセ電] または [国保レセ電] ボタンをクリックして入退院データを作成します。

3. 4 外来情報連携用データファイル作成処理の自動実行

外来データファイル作成については、cron の設定を行うことにより自動実行が可能です。運用に照らして設定を行ってください。なお、入院データファイル作成については、業務画面からの指示にのみ実行可能です。

cron の設定内容は、以下のとおりです。

```
$ sudo vi /etc/jma-receipt/jma-receipt-crontab
```

設定内容

```
PATH=/usr/lib/jma-receipt/site-lib/scripts/tools:/usr/lib/jma-receipt/patch-lib/scripts/tools:/usr/lib/jma-receipt/scripts/tools:/usr/lib/jma-receipt/patch-lib/scripts/allways:/usr/lib/jma-receipt/scripts/allways:/sbin:/bin:/usr/bin:/usr/sbin:/usr/local/bin:/usr/local/sbin
```

```
10 * * * * orca run.rb
```

```
# 医療情報連携基盤用(外来一括)
```

```
# run_renkei_data_2.sh (医療機関識別番号) (連携基盤用データ出力ディレクトリ)
```

```
# 例 医療機関識別番号 : 01
```

```
# 連携基盤用データ出力ディレクトリ : /var/tmp/renkei
```

```
# 毎日 23 時 00 分実行
```

```
00 23 * * * orca run_renkei_data_2.sh 01 /var/tmp/renkei
```

③

① ②

①医療機関識別番号はグループ診療でない場合は 01 と設定します。

②連携基盤用データ出力ディレクトリは、システム管理の 9101 で設定した、実際に作成したディレクトリを指定してください。

③処理起動時間は、例では毎日 23 時 00 分に実行します。

運用に照らして設定してください。

4 各レコードの説明

4. 1 医療機関情報レコード

識別情報 : IR

レセプト電算処理システムの医療機関情報レコードを出力します。

4. 2 レセプト共通レコード

識別情報 : RE

レセプト電算処理システムのレセプト共通レコードを出力します。

4. 3 連携用レセプト共通レコード 1

識別情報 : R1

連携用患者 I D	(P02) 患者登録 [その他] 画面	地域連携 I D
-----------	---------------------	----------

		※システム管理の設定により、地域連携IDが未設定の場合に患者番号を記録。
入院日	入院患者のみ記録。最新の入院日を記録。	
退院日	入院患者のみ記録。最新の退院日を記録。入院中の場合は省略。	

4. 4 連携用レセプト共通レコード2

識別情報：R2

患者カナ氏名	(P02) 患者登録 [基本情報] 画面	カナ氏名 ※レセプト作成時ではなく、データ作成時の内容。旧姓では記録しない。
患者郵便番号	(P02) 患者登録 [基本情報] 画面	[住所] 行の郵便番号
患者住所	(P02) 患者登録 [基本情報] 画面	[住所] 行の市区町村と番地・方書きを連結した内容
患者電話番号	(P02) 患者登録 [基本情報] 画面	[電話] 行の自宅の電話番号
緊急連絡先の郵便番号	(P02) 患者登録 [連絡先等] 画面	[連絡先情報] の郵便番号
緊急連絡先の住所	(P02) 患者登録 [連絡先等] 画面	[連絡先情報] の市区町村と番地・方書きを連結した内容
緊急連絡先の電話番号	(P02) 患者登録 [連絡先等] 画面	[連絡先情報] の [電話] の 屋の電話番号

4. 5 連携用レセプト共通レコード3

識別情報：R3

患者特記種別	(P02) 患者登録 [基本情報] 画面	[アレルギー] の項目にデータがある場合は “1” を記録 [禁忌] の項目にデータがある場合は “2” を記録
患者特記内容	(P02) 患者登録 [基本情報] 画面	[アレルギー] の項目にデータがある場合は内容を記録 左側、右側の各項目別にレコード作成 (最大2レコード) [禁忌] も [アレルギー] と同様

4. 6 保険者レコード

識別情報：H0

レセプト電算処理システムの保険者レコードを出力します。

4. 7 公費レコード

識別情報：K0

レセプト電算処理システムの公費レコードを出力します。

4. 8 傷病名レコード

識別情報：SY

レセプト電算処理システムの傷病名レコードを出力します。

ただし、システム管理の設定で傷病名レコード記録にチェックがある場合となります。

4. 9 診療行為レコード

識別情報：SI

レセプト電算処理システムの診療行為レコードを出力します。

ただし、以下のレコードのみ出力します。

診療識別コード	内容
14	在宅
31	皮下筋肉内注射
32	静脈内注射
33	その他注射
60	検査・病理

4. 10 医薬品レコード

識別情報：IY

レセプト電算処理システムの医薬品レコードを出力します。

ただし、以下のレコードのみ出力します。

診療識別コード	内容
14	在宅
21	内服
22	頓服
23	外用
31	皮下筋肉内注射
32	静脈内注射
33	その他注射

4. 11 コメントレコード

識別情報：C0

診療行為レコード、医薬品レコードの条件を満たしているため出力しません。

4. 1 2 連携用コメントレコード

識別情報：C1

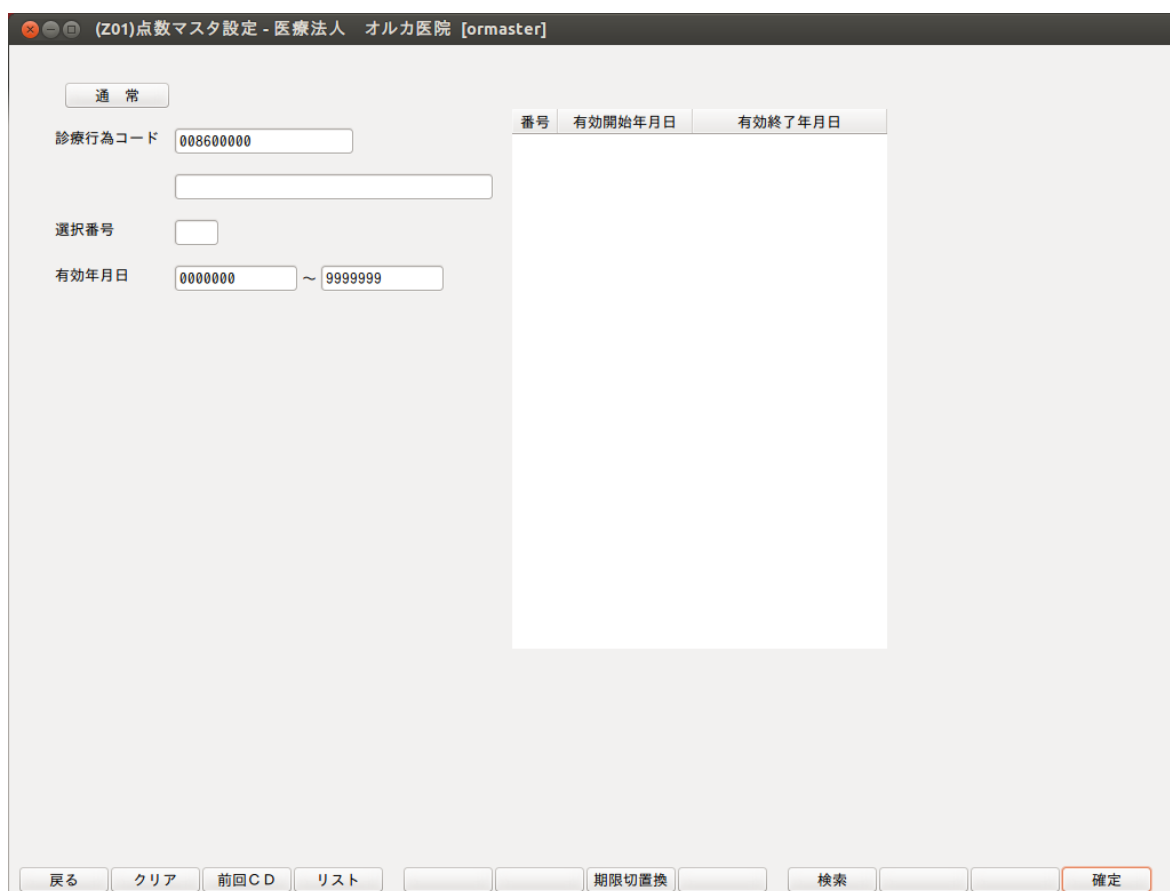
日レセ診療行為入力画面から、特定のコメントコードにより入力した内容を出力します。

コメントコード：008600000（ユーザにより作成）

5 連携用コメントマスタの作成と入力方法

5. 1 コメントマスタの作成

点数マスタ業務より、コメントマスタを作成します。

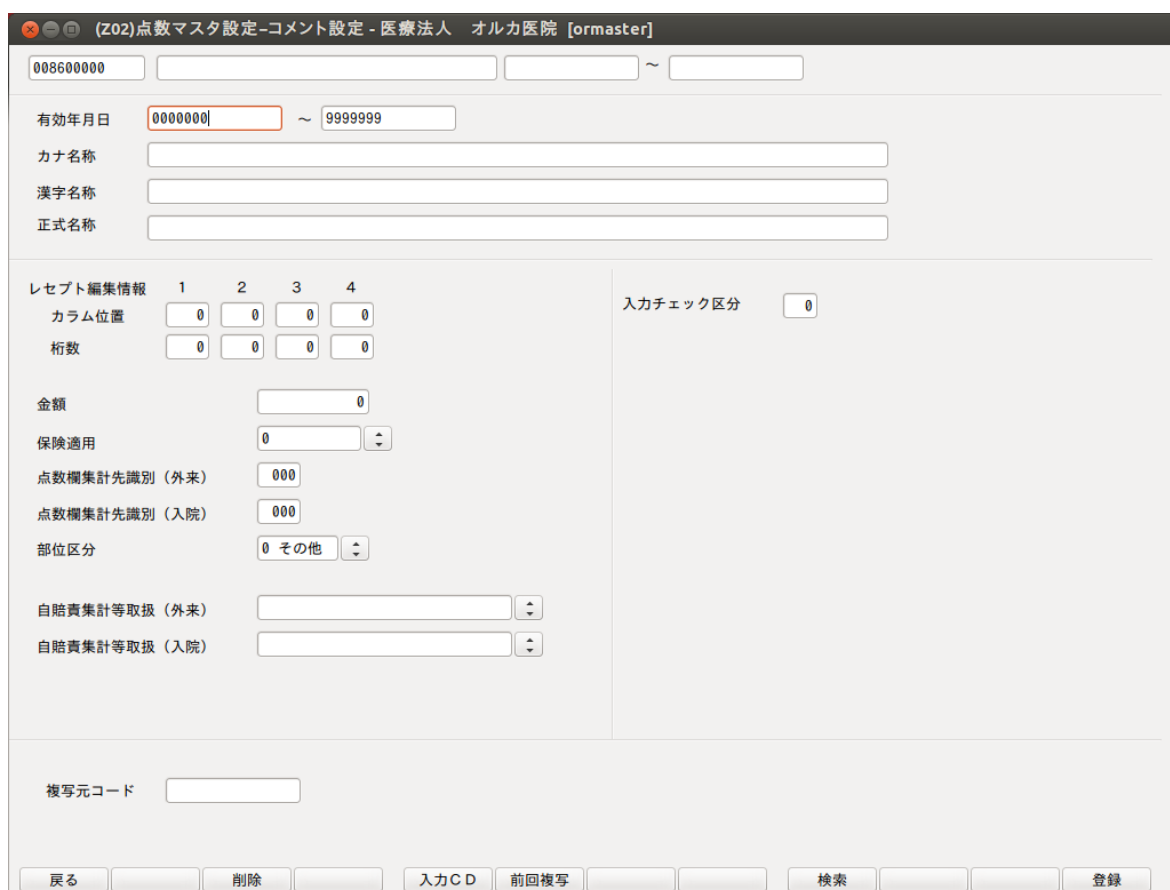


診療行為コードは“008600000”を指定します。

有効年月日は“00000000”～“99999999”を指定します。

[確定] ボタンをクリックします。

※コメントコード“008600000”はフリーコメントであり、レセプト、診療費明細書等に表示を行わない特別なコードとなります。



(Z02)点数マスタ設定-コメント設定 - 医療法人 オルカ医院 [ormaster]

008600000 ~

有効年月日 0000000 ~ 9999999

カナ名称

漢字名称

正式名称

レセプト編集情報

	1	2	3	4
コラム位置	0	0	0	0
桁数	0	0	0	0

金額 0

保険適用 0

点数欄集計先識別 (外来) 000

点数欄集計先識別 (入院) 000

部位区分 0 その他

自賠責集計等取扱 (外来)

自賠責集計等取扱 (入院)

入力チェック区分 0

複写元コード

戻る 削除 入力CD 前回複写 検索 登録

フリーコメントに使用するコードですので、表示されたそのままで入力せず、[登録] ボタンをクリックして登録します。

5. 2 連携用コメントの入力方法

連携用コメントは、診療区分“99”（診療種別“.990”）となるように入力します。

一行に全角40文字入力できますが、連携用コメントの仕様では全角38文字まで記録となります。

一剤に複数入力しても連結はいたしません。一行1レコードで記録となります。


```
root@orcazero: /home/orcauser
IR,1,13,1,1234567,,医療法人 オルカ医院,42607,00,03-3946-0001
RE,1,1122,42606,日医 太郎,1,3360401,,,,,,,,,00005,,,,,,,,,,,,,
R1,123456789ABCD,,
R2,ニチイ タロウ,,,,,
HO,01130012,1 2 3 4 ,1 2 ,1,486,,,,,,,,,
IY,21,1,620452801,3.00000,5,5,,,,,,,,,,,,,5,,,,,,,,,,,,,
SI,60,1,160000310,,26,1,,,,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,,,,,
SI,60,1,160000410,,7,1,,,,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,,,,,
SI,60,1,160008010,,21,1,,,,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,,,,,
SI,60,1,160010010,,49,1,,,,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,,,,,
SI,60,1,160095710,,20,1,,,,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,,,,,
SI,60,1,160061710,,34,1,,,,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,,,,,
SI,60,1,160061810,,125,1,,,,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,,,,,
C1,01,1,819990001,連携用コメントとして記録する 内容1 ,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
C1,01,1,819990001,連携用コメントとして記録する 内容2 ,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
C1,01,1,819990001,連携用コメントとして記録する 内容3 ,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
C1,01,1,819990001,連携用コメントとして記録する 内容4 ,,,,,,,,,,1,,,,,,,,,
~
RECEIPTCS120140707104343.UKE:
```

6. 1 連携基盤用データファイルの削除

15

連携基盤用ディレクトリに溜まったファイルは、医療情報連携基盤システムから指示されたファイルアップローダーによりファイルをアップロード後、正常にアップロードが確認できたら必要に応じて削除を行ってください。

レセコン側は連携データファイルを作成するところまでが仕様範囲です。ファイルの削除は医療情報連携基盤システム側の仕様範囲となります。

6. 2 制限事項

- ・ 包括保険 9999 による入力内容は記録できない。
- ・ 連携用コメントレコード（C1）は平成 26 年 7 月提供パッチで記録を可能とします。
※7 月 24 日提供済
- ・ 一般名処方加算対象の医薬品の記録については処方せん作成時のマスタ設定とレセプト作成時のマスタ設定が異なる場合に不正確となる可能性がある。